



システム必要条件
SAS® 8.2 (TS2M0)
Solaris 版

本書では、SASのインストールおよび実行に必要な条件について、以下の順に説明します。

- ・ ソフトウェア必要条件
- ・ ハードウェア必要条件
- ・ 各プロダクトの必要ディスク容量
- ・ 各プロダクトの必要条件
- ・ SAS/GRAPH® サポートデバイス一覧

ソフトウェア必要条件

SAS、以下のソフトウェア環境で動作します。

オペレーティングシステム	Solaris 2.6, 7, 8
Web ブラウザ	Netscape Navigator Version 4.08、 または Netscape Communicator Version 4.7 以降 (Version 4.7.3 以降推奨)

オペレーティングシステム

Solaris 2.6, 7, 8 をサポートしています。

注意 SAS 8.2 (TS2M0) Solaris 版は、Solaris 8 を標準として開発されています。従って、Solaris 2.6 および Solaris 7 をご使用で、インストールを行う際には、オペレーティングシステムを Solaris 8 にアップグレードしていただくことを強く推奨します。

Web ブラウザ

Netscape Navigator Version 4.08 、または Netscape Communicator Version 4.7 以降を必要とします。また、最適なパフォーマンスを得るためには、Netscape Communicator Version 4.7.3 以降のご使用を推奨します。

注意 Netscape Communicator Version 6 は、サポートされていません。

その他の機能

PDF と PostScript Reader

SASは、PDF 形式または PostScript 形式でファイルに出力することができます。また、SASに同梱されているドキュメントの中には、これらの形式のものもあります。これらのドキュメントを閲覧または参照するためには、以下の Web サイトから、それらのためのソフトウェアをダウンロードしてください。

□ PostScript ファイル閲覧用 (Ghostview, Ghostscript, GSview)

<http://www.cs.wisc.edu/~ghost/> (英語)

注意 PostScript 形式での出力は英語版のみの機能となっているので、日本語等のダブルバイト文字の出力は正常に行われません。

□ PDF ファイル閲覧用

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html> (日本語)

注意 PDF 形式での出力は英語版のみの機能となっているので、日本語等のダブルバイト文字の出力は正常に行われません。

ハードウェア必要条件

SASは、以下のハードウェア環境で動作します。

マシン	Solaris 2.6, 7 をサポートしている SPARC 搭載の全てのモデル Solaris 8 をサポートしている ultraSPARC 搭載の全てのモデル 注意 上記の Solaris 2.6 は、日本語版 SASではサポートされていません。
提供するメディア	CD-ROM
メモリ	64MB 以上 複数のユーザーが同時に SASを使用する場合、 1 ユーザーにつきメモリを 8MB 増設することをお勧めします。
端末	256 色以上をサポートしている X ウィンドウシステムが動作する ターミナルまたはサーバー 注意 フルスクリーンデバイスは、サポートされていません。

各プロダクトの必要ディスク容量

注意 必要ディスク容量のカッコの中は、日本語版のために追加で必要な容量です。それが左右に分かれている場合には、左がプライマリーエンコーディングを、右がセカンダリーエンコーディングを、それぞれ指しています。なお、以下の容量には、サンプルのインストールに必要な分は含まれていません。

ソフトウェアプロダクト	必要な容量 (MB)
Base SAS® (必須プロダクト)	204 (43, 45)
DBCS Asian Languages Support Software	62
SAS/ACCESS® Interface to Baan	1
SAS/ACCESS® Interface to CA-OpenIngres	1
SAS/ACCESS® Interface to DB2	1
SAS/ACCESS® Interface to INFORMIX	1
SAS/ACCESS® Interface to Microsoft SQL Server	4
SAS/ACCESS® Interface to ODBC	1
SAS/ACCESS® Interface to ORACLE	1
SAS/ACCESS® Interface to PC File Formats	1 (1, 1)
SAS/ACCESS® Interface to PeopleSoft	1
SAS/ACCESS® Interface to R/3	29
SAS/ACCESS® Interface to SAP BW	2
SAS/ACCESS® Interface to SYBASE	1
SAS/ACCESS® Interface to Teradata	1
SAS/AF®	8 (1, 1)
SAS/ASSIST®	15 (15, 13)
SAS/CONNECT®	3
SAS® Data Quality - Cleanse	6
SAS/EIS®	19 (14, 13)
SAS® Enterprise Miner Server	53
SAS/ETS®	26
SAS/FSP®	1
SAS/Genetics™	1
SAS/GIS®	54
SAS/GRAPH®	34 (3, 3)
SAS® High-Performance Forecasting	1
SAS/IML®	8
SAS/INSIGHT®	12 (1, 1)

SAS® Integration Technologies	9
SAS/IntrNet®	2 (1, 1)
SAS® IT Resource Management(IBIT Service Vision) Server	161
SAS/LAB®	7
SAS/MDDDB Server®	12 (1, 1)
SAS OnlineTutor®	56
SAS/OR®	31
SAS/QC®	25
SAS® Research Data Management	34
SAS® Risk Dimensions Analyst Edition	536
SAS® Risk Dimensions Enterprise Edition	640
SAS/SECURE™ 168-bit	1
SAS/SHARE®	35
SAS/SPECTRAVIEW®	2
SAS/STAT®	40
SAS/TOOLKIT®	5
SAS/Warehouse Administrator®	39 (10, 9)
SAS® WebHound	25

注意 上記のソフトウェアのうち、SAS/LAB等、一部のものについては、メッセージやメニューが日本語化されていません。

注意 SASのオンラインヘルプは、全て英語です。

各プロダクトの必要条件

SAS/ACCESS Interface to Baan

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Baan

SAS/Warehouse Administratorがインストールされていれば、より充実した機能を利用することができます。

□ 必要な DBMS プロダクト

以下のいずれかのバージョンが必要です。

- ・ Baan IV
- ・ BaanERP

注意 SAS/ACCESS Interface to Baanを使用するためには、Baan ユーティリティの Exchange Module が必要です。詳細に関しては、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to CA-OpenIngres

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to CA-OpenIngres

□ 必要な DBMS プロダクト

- ・ CA-OpenIngres 1.2/00
- ・ Ingres II

注意 SASのローカルノードに CA-OpenIngres ESQ/C 開発ツールが必要です。また、SASと CA-OpenIngres ソフトウェアが異なるマシン上にある場合は、CA-OpenIngres/Net が必要です。

SAS/ACCESS Interface to DB2

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to DB2

□ 必要な DBMS プロダクト

以下のバージョンのいずれかが必要です。

- ・ Universal Database Version 5.0 for Solaris
- ・ Universal Database Version 6.0 for Solaris
- ・ Universal Database Version 7.1 for Solaris

SAS/ACCESS Interface to DB2は、DB2 サーバー、もしくは DB2 Client Application Enabler ノードに、インストールすることができます。MVS、VSE、VM（元の SQL/DS）、OS/400 上の DB2 にアクセスするためには、DDCS が必要となります。

SAS/ACCESS Interface to INFORMIX

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to INFORMIX

□ 必要な DBMS プロダクト

Informix Client Libraries と Informix DBMS server が必要です。

Informix Client Libraries は、以下のどちらかのバージョンである必要があります。

- ・ Informix Client SDK Version 2.01 以降
- ・ Informix Connect (I-Connect) Version 2.30 以降

Informix Dynamic Server Edition は、以下の IDS または XPS（Extended Parallel Server）バージョンである必要があります。

- ・ 7.30
- ・ 8.21
- ・ 9.14

注意 SAS/ACCESS Interface to INFORMIXは、上記のバージョンであれば、どの「UCn」（n は数字）でも利用することが可能です。

注意 SAS/ACCESS Interface to INFORMIXを使用する場合は、動作確認状況をテクニカルサポートまでお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server

□ 必要な DBMS プロダクト

以下のバージョンの Microsoft SQL Server が必要です。

- ・ Microsoft SQL Server 7.0

SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Serverは、SAS コンポーネントと DBMS アクセスコンポーネントから構成されています。DBMS アクセスコンポーネントは、MERANT から提供されている、Microsoft SQL Server 用の ODBC ドライバから構成されています。このドライバによって、Microsoft SQL Server に対するアクセスが可能となります。このドライバは、SASの CD-ROM メディアに含まれており、SASをインストールする際に、ともにインストールされます。

Microsoft SQL Server 用の ODBC ドライバは、ODBC API に準拠したダイナミックリンクライブラリ（共有オブジェクト）を含んでいます。SASの実行時に、このドライバが動的にロードされるようにするためには、環境変数 LD_LIBRARY_PATH に、このダイナミックリンクライブラリへのパスを追加する必要があります。

サンプルの .odbc.ini ファイルが、Microsoft SQL Server 用の ODBC ドライバとともに収録されています。Microsoft SQL Server のデータソースを設定するためには、この .odbc.ini ファイルを編集してください。

注意 SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Serverの動作検証は、MERANT の、DataDirect Connect ODBC ドライバと DataDirect SequeLink ODBC ドライバを使用して行われています。

SAS/ACCESS Interface to ODBC

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to ODBC

□ 必要な DBMS プロダクト

アクセスする DBMS に対応した ODBC ドライバが必要です。これらのドライバは DBMS ベンダーやサードパーティーから提供されています。ドライバによっては、さらに DBMS 関連ソフトウェアが必要となります。

データソースを設定するためには、ユーザーのホームディレクトリにある .odbc.ini ファイルを、テキストエディタを使用して編集することが必要な場合があります。また、ODBC ドライバによっては、環境変数を適切に設定することで、システム管理者による .odbc.ini ファイルの集中的な管理が可能となります。

ODBC ドライバは、ODBC API に準拠したダイナミックリンクライブラリ（共有オブジェクト）です。SASの実行時に、このドライバが動的にロードされるようにするためには、環境変数 LD_LIBRARY_PATH に、このダイナミックリンクライブラリへのパスを追加する必要があります。

注意 SAS/ACCESS Interface to ODBCの動作検証は、MERANT の、DataDirect Connect ODBC ドライバと DataDirect Sequelink ODBC ドライバを使用して行われています。

注意 DBMS ベンダー以外のサードパーティーが ODBC ドライバを提供している場合があります。

ご使用の ODBC ドライバ固有の情報については、各 ODBC ドライバのベンダーのドキュメントを参照してください。

注意 SAS/ACCESS Interface to ODBCを使用して、Sybase Adaptive Server IQ (ASIQ) Release 12.x 上のデータにアクセスする際には、いくつかの制限があり、また設定情報も必要となります。ASIQ Release 12.x がサポートしているのは、ODBC Release 3.x なので、その条件に適った ODBC ドライバマネージャーを使用する必要があります。また、クライアントのマシンにも ASIQ Release 12.x をフルインストールする必要があります。これは、Sybase がクライアント用のインストール機能を持たないためです。また、ASIQ Release 12.1 を使用している場合には、データの更新は全くできません。ASIQ Release 12.4.1 においては、SQL プロシジャの Path-Through 機能で、EXECUTE ステートメントを使用することができます。しかし、DATA ステップでの更新や、SQL プロシジャでの LIBNAME を使用した更新は、Sybase 用の ODBC ドライバでサポートされていません。また、ASIQ はバルクローディングをサポートしていないので、外部のシーケンシャルファイルからデータを読み込む際には、DBISQL load ステートメントを使用してください。

以下は、Sybase 用 ODBC ドライバを使用する場合の、odbc.ini ファイルの設定例です。

SybaseIQ=Sybase IQ ODBC driver
[SybaseIQ]
Driver=/dbi/sybase/odbc/12.4.0_P/products/asiq/lib/dbodbc6.so
Description=SybaseIQ
Userid=dba
Password=sql
EngineName=asiq12
CommLinks=tcpip(host=10.26.10.24;port=2638)
AutoStop=no
AutoPreCommit=yes
DatabaseName=asiqusers
DatabaseFile=D:¥Sybase¥iq12¥users.db

ASIQ Release 12.x サーバーがリモートの Windows NT ノード上にある場合には、DatabaseFile= と host= を指定する必要があります。また、その際に、host= には、上記の例にあるように、ホスト名ではなく IP アドレスを指定してください。

また、AutoPreCommit=yes と指定する必要があります。

SAS/ACCESS Interface to ORACLE

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to ORACLE

□ 必要な DBMS プロダクト

SAS/ACCESS Interface to ORACLEを使用するためには、Oracle RDBMS Server ノード、または Oracle クライアントノード (SQL*Net) が必要です。

対応している Oracle のバージョンは以下の通りです。

- Oracle Release 7.3.4.x
- Oracle Release 8.0.x
- Oracle Release 8.1.x

SAS/ACCESS Interface to PeopleSoft

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to PeopleSoft、 PeopleSoft Software Version 7.5 以降

□ 必要な DBMS プロダクト

SAS/ACCESS Interface to PeopleSoftは、PeopleSoft データベースにアクセスするために、別の SAS/ACCESSを必要とします。現在のところ、以下のプロダクトがサポートされています。

- ・ SAS/ACCESS Interface to ORACLE
- ・ SAS/ACCESS Interface to ODBC
- ・ SAS/ACCESS Interface to OLE DB

上記のプロダクトの詳細に関しては、それぞれのプロダクトの必要条件を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to R/3

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to R/3

下記の SASのプロダクトがインストールされていれば、より充実した機能を利用することができます。

- ・ SAS/Warehouse Administrator
- ・ SAS/CONNECT
- ・ SAS/SHARE

SAS/ACCESS Interface to R/3は、TCP/IP 等の通信プロトコルを必要とします。

□ 必要な DBMS プロダクト

以下の SAP R/3 のバージョンが必要です。

- ・ SAP R/3 Release 2.2 以降
- ・ SAP R/3 Remote Function Call Software Development Kit (RFCSDK)

SAS/ACCESS Interface to SAP BW

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to R/3、SAS/ACCESS Interface to SAP BW

下記の SAS のプロダクトがインストールされていれば、より充実した機能を利用することができます。

- ・ SAS/EIS および SAS/MDDDB Server
- ・ あるいは SAS OLAP Server パッケージ

□ 必要な DBMS プロダクト

以下の SAP BW のバージョンが必要です。

- ・ SAP BW 2.0B

SAS/ACCESS Interface to Teradata

注意 このプロダクトは、SPARC 搭載のマシンのみをサポートしています。

注意 このプロダクトをご使用になる場合には、SASの起動時に SETJMP オプションを指定する必要があります。

(例)

```
$ sas -setjmp
```

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Teradata

□ 必要な DBMS プロダクト

- ・ Teradata RDBMS Server V2R2 (Version 2, Release 2) 以降
- ・ SPARC 搭載マシンの Solaris 上で動作する Teradata Client ソフトウェア (SAS/ACCESS Interface to Teradataは、Teradata Utilities Foundation (TUF) に含まれる CLiv2 ライブラリを使用します。)

SAS/ACCESS Interface to SYBASE

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS Interface to SYBASE

□ 必要な DBMS プロダクト

以下の SYBASE Open Client CT-Library のいずれかのバージョンが必要です。

- ・ SYBASE Open Client Release 11.1.1 (EBF 8376 以降)
- ・ SYBASE Open Client Release 12.x
- ・ Adaptive Server Enterprise Release 11.x 以降 (推奨)

注意 SAS System 8 より、SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インターフェイスが SYBASE のみに対応するよう変更されました。それに伴い、Microsoft SQL Server については、SAS/ACCESS Interface to ODBCを使用させていただくことになりました。なお、ご契約の変更などに関しては、弊社担当営業までお問い合わせください。

注意 Sybase ASIQ Release 12.x はサポートされていないので、SAS/ACCESS Interface to ODBCをご使用ください。

SAS/AF

□ 必須プロダクト

・ アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF、(SAS/GRAPHの機能を利用する場合には) SAS/GRAPH

上記に加え、作成するアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

・ アプリケーション実行時

Base SAS、(SAS/GRAPHの機能を利用する場合には) SAS/GRAPH

上記に加え、作成したアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

□ プリンタ

画面に表示されるオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。

オブジェクトの中には、印刷するために、SAS/GRAPHを必要とするものがあります。

□ SAS/AF ビデオ再生オブジェクト

- ・ ハードウェア

音声の出力は、サポートされていません。

Base SAS

□ テープデバイス

- ・ 4mm カートリッジテープ
- ・ 8mm カートリッジテープ

□ Base SAS ビデオ再生

Base SASのビデオ再生機能により映像ファイルを再生することができます。ただし、ビデオ再生オブジェクトは、SAS/AFの機能の一部です。

- ・ ハードウェア

音声の出力は、サポートされていません。

SAS/CONNECT

□ TCP/IP アクセス方式

オペレーティングシステムに標準で実装されている TCP/IP 通信プロトコルをサポートしています。

SAS/EIS

□ 必須プロダクト

- ・ アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF、SAS/EIS、SAS/FSP、SAS/GRAPH

上記に加え、作成するアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

・ **アプリケーション実行時**

Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/EIS

上記に加え、作成したアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

□ **メモリ**

64MB 以上（96MB 以上推奨）

SAS Enterprise Miner ソリューション 4.1

□ **必須プロダクト（SAS Enterprise Miner サーバー）**

Base SAS、SAS/STAT、SAS Enterprise Miner ソリューション（下記プロダクトを含む）
（SAS Enterprise Miner Server、SAS/CONNECT、SAS/ETS、SAS/GRAPH）

□ **メモリ（SAS Enterprise Miner サーバー）**

512MB 以上

□ **ディスク容量（SAS Enterprise Miner サーバー）**

SAS Enterprise Minerに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Enterprise Minerが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS/Genetics

□ **必須プロダクト**

Base SAS、SAS/Genetics、SAS/GRAPH

SAS/GIS

□ 必須プロダクト

・ アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF、SAS/GIS、SAS/GRAPH

上記に加え、作成するアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

・ アプリケーション実行時

Base SAS、SAS/FSP、SAS/GIS、SAS/GRAPH

上記に加え、作成したアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

□ プリンタ

画面に表示されるオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。オブジェクトの中には、印刷するために、SAS/GRAPHを必要とするものがあります。

SAS® HR Vision

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS (各種)、SAS HR Vision Data Server コンポーネント(下記プロダクトを含む)

(SAS/ACCESS Interface to PC File Formats、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS Integration Technologies、SAS/MDDDB Server、SAS/OR、SAS/SHARE、SAS/STAT、SAS/Warehouse Administrator)

□ ディスク容量

SAS HR Vision Data Serverコンポーネントに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS HR Vision Data Server コンポーネントが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS® Information Delivery Portal 1.1

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS Information Delivery Portal Server コンポーネント(下記プロダクトを含む)
(SAS Integration Technologies)

□ ディスク容量

SAS Information Delivery Portal Serverコンポーネントに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Information Delivery Portal Server コンポーネントが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS/IntrNet

SAS/IntrNetは、いくつかのコンポーネントによって構成されています。ほとんどのコンポーネントは、SASのメディアに含まれています。ここに含まれていないものについては、同梱の『Client-Side Components CD』に収録されています。

□ CGI ツールとアプリケーション

・ アプリケーションディスパッチャー

・ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/IntrNet

上記に加え、アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを、Web サーバーにインストールする必要があります。

・ htmSQL

・ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/SHARE、SAS/IntrNet(ライセンス)

上記に加え、htmSQL のコンポーネントを、Web サーバーにインストールする必要があります。

- **MDDB レポートビューワアプリケーション**

- **必須プロダクト**

- Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/IntrNet、SAS/EIS または SAS OLAP Server

- 上記に加え、アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを、インストールし設定する必要があります。

- **Xplore サンプルウェブアプリケーション**

- **必須プロダクト**

- Base SAS、SAS/IntrNet

- 上記に加え、アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントをインストールし、設定する必要があります。

- **Java 用のツールとアプリケーション**

- **SAS/CONNECT Driver for Java**

- **必須プロダクト**

- Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNet、
(データサービスを使用する場合には) SAS/SHARE

- 上記に加え、Java ツールパッケージを、Web サーバーもしくはクライアントにインストールする必要があります。

- **Tunnel 機能**

- UNIX 上、または Windows 上の Web サーバーにインストールする必要があります。

- **MetaSpace Explorer アプレット**

- **必須プロダクト**

- Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNet

SAS IT Resource Management (旧 IT Service Vision) 2.5

- **必須プロダクト (SAS IT Resource Management サーバー)**

- Base SAS、SAS IT Resource Management Server ソリューション(下記プロダクトを含む)
(SAS IT Resource Management Server、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/FSP、

SAS/GRAPH、SAS/INSIGHT、SAS/MDDDB Server、SAS/STAT)

□ ディスク容量 (SAS IT Resource Management サーバー)

SAS IT Resource Managementに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS IT Resource Managementが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

□ その他

SAS IT Resource Managementをご利用の場合には、スクリーンの解像度が 800x600 以上である必要があります。ご使用のディスプレイの解像度がこれ以下の場合、ウィンドウによってはスクリーンに合わせて切り詰められてしまいます。

フォントの表示に関する問題が生じた場合には、デフォルトの SAS フォントを使用することができます。デフォルトのフォントを指定するためには、SASの DLGFONT コマンドを実行してください。フォント画面で、フォントは「Sasfont」、スタイルは「regular」、フォントサイズは「10」をそれぞれ指定します。

SAS IT Resource Managementは、256 色以上をサポートする X ウィンドウシステムを必要とします。

印刷可能なかたちで提供されているオンラインドキュメントの中には、Adobe Acrobat Reader 3.x 以降を必要とするものがあります。

SAS/LAB

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/LAB

データの内容確認および修正用にSAS/FSPのご利用をお勧めします。

SAS® Marketing Automation ソリューション

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS/ACCESS (各種)、SAS Marketing Automation Server ソリューション(下記プロダクトを含む)

(SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS Enterprise Miner Server、SAS/ETS、SAS/GRAPH、SAS Integration Technologies、SAS/IntrNet、SAS/MDDB Server、SAS/OR、SAS/SHARE、SAS/STAT)

□ ディスク容量

SAS Marketing Automation Serverに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Marketing Automation Serverが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS/MDDB Server

□ メモリ

必要とされるメモリ量は、生成される階層の複雑さ（次元）に依存します。

48MB 以上（64MB 以上推奨）

SAS® Microarray Solution-Server 1.0

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS Research Data Management-Server、SAS Microarray Solution-Server、SAS/STAT

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

□ ディスク容量

SAS Microarray Solution-Serverに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Microarray Solution-Serverが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS OLAP Serverパッケージ

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS OLAP Server パッケージ (SAS/MDDDB Server、SAS/AF、SAS/GRAPH)

□ ディスク容量

SAS OLAP Serverパッケージに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS OLAP Server パッケージが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

SAS® Research Data Management 1.2

□ 必須プロダクト(SAS Research Data Management-Server)

Base SAS、SAS Research Data Management-Administrator、SAS Research Data Management Server (下記プロダクトを含む)
(SAS Research Data Management、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS Integration Technologies、SAS/SHARE、SAS/ACCESS Interface to PC File Formats)

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

□ ディスク容量(SAS Research Data Management-Server)

SAS Research Data Management-Serverに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Research Data Management-Server
が必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたもの
となります。

□ 必須プロダクト(SAS Research Data Management-Administrator)

Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/Warehouse Administrator

Java Runtime Environment(JRE)が必要です。詳しくは「*Installation Instructions for SAS
Research Data Management, Release 1.2 and SAS Microarray Solution, Release 1.2 and SAS
Microarray Solution, Version 1.0*」を参照してください。

□ ディスク容量(SAS Research Data Management-Administrator)

SAS Research Data Management-Administratorに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要と
するディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を
参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Research Data
Management-Administratorが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされてい
るプロダクト分を除いたものとなります。

SAS Risk Dimensions 3.3

□ メモリ

512MB 以上 (1GB 以上推奨)

□ その他

RiskWeb レポートを表示させるため、Webサーバーが必要になります。

SAS/SHARE

□ TCP/IP アクセス方式

オペレーティングシステムに標準で実装されている TCP/IP 通信プロトコルをサポートしています。

SAS® Strategic Performance Management 1.4

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS Strategic Performance Management Server(下記プロダクトを含む)
(SAS/ACCESS Interface to ODBC、SAS Integration Technologies、SAS/IntrNet、SAS/SHARE、
SAS/Warehouse Administrator)

□ ディスク容量

SAS Strategic Performance Managementに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS Strategic Performance Management
が必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたもの
となります。

SAS/TOOLKIT

SAS/TOOLKITにおいて、正式にサポートされているのは C 言語のみです。その他の言語は、試用版
となっています。

SAS/Warehouse Administrator

□ 必須プロダクト

・ アプリケーション作成時

Base SAS、SAS/AF

・ アプリケーション実行時

Base SAS

上記に加え、作成したアプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合がありま
す。

□ プリンタ

画面に表示されるオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。

オブジェクトの中には、印刷するために、SAS/GRAPHを必要とするものがあります。

SAS WebHound ソリューション 4

□ 必須プロダクト

Base SAS、SAS WebHound ソリューション(下記のプロダクトで構成)

(SAS WebHound、SAS/AF、SAS/CONNECT、SAS/EIS、SAS/ETS、SAS/FSP、SAS/GRAPH、SAS High-Performance Forecasting、SAS/MDDB Server、SAS/IntrNet、SAS/Warehouse Administrator)

□ ディスク容量

SAS WebHoundソリューションに必要なディスク容量は、上のプロダクトが必要とするディスク容量の合計となります。詳細に関しては、先述の「各プロダクトの必要ディスク容量」を参照してください。

注意 既に SAS 8.2 がインストールされている場合は、SAS WebHound ソリューションが必要とするディスク容量の合計は、既にインストールされているプロダクト分を除いたものとなります。

□ その他

- ・ Web ログは、CLF、ELF、IIS の形式、または独自の形式をとることが可能です。ただし、この Web ログには、日時が記録されている必要があります。
- ・ SAS WebHoundによるレポートを閲覧するための Web サーバーが必要です。
- ・ 上記のプロダクトをインストールするためのディスク容量に加え、Web ログデータと SAS WebHoundが処理するデータのための容量が別に必要となります。SAS WebHoundによって処理されるデータのために必要なディスク総容量は、ご使用の環境の Web サイトの規模や、ログデータを保存する期間などに依存します。
- ・ SAS WebHoundによって使用される SAS/IntrNet アプリケーションサービスのためのポート番号が必要です。
- ・ レポートをカスタマイズするためには、同梱の『Client-Side Components CD』に収録され

ている SAS/IntrNet デザインタイムコントロールを使用してください。

SAS/GRAPH サポートデバイス一覧

注意 以下に掲載されていない他のメーカーのグラフィックデバイスでも、掲載されているデバイスをエミュレートしているものがあります。ただし、エミュレーションのレベルによって SAS/GRAPHで正常に使用できないものもありますのでご注意ください。

プリンタ

SAS/GRAPHは、Hewlett-Packard（または互換）のプリンタと、PostScript、HP-GL、HP PCL などのプリンタ言語をサポートするプリンタに対して、デバイスドライバを提供しています。

以下に、SAS独自のドライバが提供されているプリンタの一部を記載します。

CalComp ColorMaster, ColorMaster Plus, PlotMaster
Canon Bubble Jet, Canon LaserShot
Digital printer (SIXEL, HP PCL, Tektronix, PostScript エミュレーションモードのいずれかをサポートするもの)
Epson FX and LQ series (および Epson エミュレーションモードで動作するプリンタ)
Hewlett-Packard LaserJet, DeskJet, PaintJet, DesignJet printer (および HP 互換プリンタ)
IBM Graphics, Proprinter, Colorjet printer
PostScript printer (カラーもしくはグレースケールの Postscript プリンタを含む)
QMS Colorgrafix (CGM インタープリタ使用)
QMS 800, 1200, 1500, 2200, 2400 (QUIC または Tektronix エミュレーションモード使用)
Talaris 800, 802, 1200, 1500, 2400 (QUIC または Tektronix エミュレーションモード使用)
Talaris Printers (EXCL 言語使用)
Tektronix Phaser printer (全てのモデル)
Tektronix 4693 Printers (Tektronix 4510 Rasterizer 使用)
Xerox 2700, 4045 (GRAPHX カートリッジ使用)
Xerox 3700 (イメージボードと 1MB 以上のメモリを使用)
Xerox 4213, 4235, 4700
Xerox 5775 カラーコピー (EFI Fiery 使用)

上記のリストに掲載されていないプリンタにつきましては、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

プロッタ

SAS/GRAPHは、HP プロッタドライバ（HP-GL、HP-GL/2 互換）を用いて、任意のプロッタへ出力することが可能です。

SAS/GRAPHは、HP-GL または HP-GL/2 プリンタ言語をサポートする、HP の全てのプロッタ、および他のベンダーのプロッタに対して、デバイスドライバを提供しています。

以下に、SAS独自のドライバが提供されているプロッタを記載します。

HP-GL または HP-GL/2 言語をサポートする Hewlett-Packard 製プロッタの全て
HP-GL または HP-GL/2 言語をサポートするその他のプロッタ
DMPL 言語をサポートする Houston Instruments 製プロッタ
GML 言語をサポートする ZETA 製プロッタ

フィルムレコーダ

以下に、SAS独自のドライバが提供されているフィルムレコーダを記載します。

Genigraphics Masterpiece Camera System with SCODL interface
Lasergraphics MPS 2000 film recorder with a Lasergraphics UI-100 or RASCOL rasterizer
Matrix QCR and PCR cameras with Matrix QVP, MVP, or Lasergraphics rasterizers
Polaroid Palette CI-3000 and CI-5000
Presentation Technologies Montage film recorder

上記のリストに掲載されていないフィルムレコーダにつきましては、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPHには、バイナリもしくはクリアーテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル（CGM）を作成するドライバが含まれています。このドライバを使用することによって、SAS/GRAPHの出力を

Word (Windows版)、Word Perfect (Windows版)、Harvard Graphics あるいは Lotus Freelance のような CGM 形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアに移行させることができます。

その他に、カプセル化された PostScript ベクタファイルを生成することができます。これによって、Word や WordPerfect などのワードプロセッサに移行させることができます。

また、HP-GL 形式でのファイル出力もサポートしているので、HP-GL 形式に対応するソフトウェアへもグラフ出力を移行させることができます。SAS/GRAPH の全てのデバイスドライバを表示するには、次のようにプログラムを実行します。

```
proc gdevice c=sashelp.devices nofs;  
  list _all_;  
run; quit;
```

上記に加え、SAS/GRAPHでは、次のフォーマットのグラフデータを書き出すことができます。

BMP	Microsoft Windows Bitmap
EPS	Encapsulated PostScript
GIF	Graphics Interchange Format
PNG	Portable Network Graphics
PPM	Portable Pixmap
PS	PostScript Bitmap
TIF	Tagged Image File Format
XPM	X11 Pixmap
JPG	JPEG
XBM	X11 Bitmap

また、SAS/GRAPHでは、次のフォーマットのグラフデータを読み込むことができます。

BMP	Microsoft Windows Bitmap
EPS	Encapsulated PostScript
GIF	Graphics Interchange Format
PBM	Portable Bitmap
PCD	Kodak Photo-CD
PCX	PC PaintBrush
PGM	Portable Graymap
PNG	Portable Network Graphics

PNM	Portable Anymap
PPM	Portable Pixmap
TGA	Targa format
TIF	Tagged Image File Format
XBM	X11 Bitmap
XPM	X11 Pixmap
XWD	X Window Dump
JPG	JPEG

ActiveX または Java デバイスドライバによって作成された HTML ファイルの閲覧

SAS では、ActiveX または Java デバイスドライバを利用して HTML ファイルを作成することができます。

ActiveX デバイスドライバを使用して作成された HTML ファイルは、Windows 上の Internet Explorer Version 5 以降によってのみ閲覧することができます。

また、Java デバイスドライバを使用して作成された HTML ファイルを閲覧するには、下記のオペレーティングシステム上の、Java に対応した Web ブラウザが必要です。

Java 対応の Web ブラウザ	オペレーティングシステム
Netscape Navigator Version 4.08 以降	AIX, HP-UX, Solaris, ABI for Intel, IRIX, Compaq Tru64 UNIX
Netscape Communicator Version 4.04 for Warp 4	OS/2
Internet Explorer Version 5 (Java VM 5.0.0.3167 以降) Netscape Navigator Version 4.07 以降	Windows 95/98, Windows NT, Windows NT Server, Windows2000

システム必要条件

SAS® 8.2 (TS2M0) Solaris 版

2003年7月1日 第3版第1刷発行

発行元 SAS Institute Japan 株式会社

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03 (3533) 3760

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SAS テクニカルサポート

TEL: 03 (3533) 3877 FAX: 03 (3533) 3781

電子メール: support@jpn.sas.com